

キャラクター名
 金山・L・慈 (かねやま・りりす・みかた) /リリス

プレイヤー名

シンドローム	オルクス		ワークス	幻想動物D	カヴァー	
	パロール					
オプション	ノイマン		年齢	20代に見える	性別	美しい男
覚醒	生誕	衝動	嫌悪	初期侵食率	34	%
出自	人類への興味	経験	喪失	邂逅	愛する人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	0	0	1			1	行動値	11
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	7
精神	3	0	0			3	戦闘移動	12
社会	3	1	2			6	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	7		RC			交渉	1	
回避			知覚			意志		1	調達	4	
運転:	4		芸術:			知識:伝説	2		情報:動物	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
大口徑機関砲	射撃	6r+7	-	23		A30、ガードを行えない、トループに対し攻撃力+2d10、搭載火器、至近不可
		0				
100以下	射撃	10r+5	-	23		
80以上	射撃	10r+5	-	46		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
スカードエンジェル		4		4	A185、攻撃力+4、〈運転:二輪〉4レベル以上でないと搭乗不可。

所持品	
ウェポンケース	
思い出の一品	
かけがえのない逸品 (指輪)	
エピック (大口徑機関砲)	

合計装甲: 4 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
半人の悪魔	P	N		
神	P 誠意	N 脅威		
梟内 詛	P 純愛	N 不安		
オーヴァニア	P 好奇心	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 40 残り財産P: 9

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:オルクス	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-Lv (下限7)								
ディストーション	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: BC65、射撃を【社会】で判定								
零距离射撃	1	2	メジャー	至近	-	対決	-	
効果: EA91、ダイス+Lv、同エンゲージ不可の武器を同エンゲージで使用できる								
オーバーロード	1	3	オート	至近	自身	自動	80	
効果:EA101、攻撃の命中判定前に使用。攻撃力を+[使用している武器ひとつの攻撃力]する。このエフェクトを使用したメインプロセス終了時に選択した武器は破壊される。								
ブラックマーケット	2	基+2	常時	至近	自身	自動	-	
効果: EA92、常備化ポイント+20、レベルアップしない								
代謝制御	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: EA95、脳神経をコントロールする。								
ディメンジョンゲート	★	3	メジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果: EA35、遠くどこちをつなぐゲートを作る。								
アイテムユーザー	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: CE75、人間用のアイテムを使用できる。								
ウィズダムアップ	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: CE75、人間の言葉で会話できる。								
シェイプアップ:ヒューマン	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: CE75、人の姿になれる。								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

一人称: 僕 二人称: 君 男女関係なく、~君呼び
 性格: ナルシスト大口叩き

自分の事を最高だと信じて疑わず、常にポジティブな性格。趣味なども多く文化的な悪魔。
 表向きはUGNイリーガルとして活動しており、正体をしているのは梟内詛だけ。
 梟内詛と出会っていつか梟内詛を殺す契約をしていたが、いつしか自身の魂を分けようとするほどに入れ込むようになった。
 色々あって生まれ変わった梟内詛を赤子の時から面倒をみて現在に至る。

アマリリス (金山慈姑) の花言葉…「誇り」「おしゃべり」「輝くばかりの美しさ」